

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	・入居者の殆どが農業に携わっていた方達なので、馴染みのある喜屋武の特産物である人参の収穫を地域の人と一緒に体験させたい。	・地域住民、子供達と一緒に人参の収穫の喜びを分かち合う。 ・人参の収穫を通して「認知症の理解」を深めてもらう。	・毎年、開催されている喜屋武の「人参収穫祭」に入居者と参加する。 ※事前に糸満市農業戦略産地連絡協議会の方と相談、調整する。	1ヶ月
2	3	・喜屋武地域子供会と交流を深めながら、認知症の体験学習の恒例化を図って啓発活動を行っていききたい。	・認知症の体験学習の恒例化 (子供達への認知症の理解を深める)	・喜屋武小学校の先生、児童、住民ボランティア、社協と共に交流会へ参加し、恒例化を図っていく。 ・紙芝居を用いて、認知症に勉強会の実施	6ヶ月
3	13	・介護サービスがマンネリ化しないよう認知症について深く学び、ケアの質を高めていきたい。	・介護のプロ意識を高め、仕事に対して生きがいや、やりがいを持てるようにする。	・看護学の実習や体験学習、傾聴ボランティアの受け入れを継続する。 ・「沖縄県GH大会」において、事例発表する。(ドールセラピーについて) ・同法人内の「看護、介護研究会」において事例発表する。(ターミナルケアについて)	6ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。